

1. 調査報告概要表

作成日平成20年4月30日

【評価実施概要】

事業所番号	(評価機関で記入) 3471503544
法人名	株式会社 愛光園
事業所名	グループホーム バラの家
所在地	広島県福山市沖野上町1丁目3番11号 (電話)082-928-6123
評価機関名	特定非営利活動法人 医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4-46-9
訪問調査日	平成20年4月25日

【情報提供票より】(20年4月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 16年 5月 1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 人
職員数	人 常勤 人, 非常勤 人, 常勤換算

(2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨 造り 3階建ての 2階 ~ 3階部分
------	----------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	25,000 円	
敷金	有(0 円) ○無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 〇無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	500 円
	夕食	450 円	おやつ	円
	または1日当たり 1,200 円			

(4) 利用者の概要(3月30日現在)

利用者人数	18名	男性	6名	女性	14名
要介護1	7名	要介護2	2名		
要介護3	4名	要介護4	3名		
要介護5	2名	要支援2	0名		
年齢	平均 83歳	最低	76歳	最高	97歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	こばたけ医院
---------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームバラの家は、名前の由来のごとくばら公園に近く街中でもあり、アクセスが便利な所にある。買い物や病院も近くて安心である。"入居者の思いと尊厳を大切に、明るい笑顔でゆとりを持って接します"を理念とし、ミニ特養、ミニ施設から『目指せ！湯治場』を念頭に若くて情熱ある管理者を中心に日々取り組まれている行事担当が毎月、いろいろ知恵を絞って生活に変化を持ってもらおう工夫している。又、月に一度は「松花堂弁当の日」を設け、メニューにも心配りが感じられる。入居者の方と共に寄り添い家庭的な雰囲気を目指されているホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	地域との交流を主に取り組んでいる。花火大会、盆踊り、クリスマス会等地域に向けた取り組みをしている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員のレベルアップを目指す。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	討議内容は現状報告、行事予定、ご案内等です。管理者は認知症アドバイザーなので地域で生かされるといい。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	面会時や電話等で、その都度対処している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	散歩時の挨拶や町内清掃を通して地域との連携を計っている。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	玄関を入ったところに、大きく理念が掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝の申し送りの時に唱和し、理念の確認をしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームとして、町内会に入っているため、祭り、新年会、掃除等に参加して地域の方と交流している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	地域との交流に特に取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催している。参加者は、家族、入居者、社長、ホーム長、職員、包括支援センター職員		町内会長、民生委員、地域行政担当者等の参加をより積極的に働きかけ、参画してもらうように期待しています。

グループホーム バラの家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	連絡を取っていない。		日頃から、連絡を密にすることで、よりスムーズな関係を作られることを望みます。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	運営推進会議にて、報告したり問い合わせ時には対応している。		入居者の方の各担当者がいるので、請求書の発送時に、月1回日々の気付き等、連絡されるとより様子が伝えられる。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時等、家族の意見を伺って、その都度対処している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	入居者全員の様子をスタッフが把握して支援できるように2階3階にスタッフが時々異動している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	出来るだけ研修に参加するよう要請している。		職員の養成は、特に力を入れておられる様子が伺えるが、再度、協力体制等、細部に渡っての検討が望まれる。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	交流の場がない。		地域に同業者が多くあり、相互の交流を持つ取り組みを望む。

グループホーム バラの家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	本人の不安を出来るだけ考慮して、家族とも話し合っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	入居者の方が積極的に家事に取り組みまれて、生き甲斐にしている方もおられた。若い職員は、いろいろ学ぶことも多いという。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	入居者一人ひとりの担当を決めて一人ひとりの思いや家族の思いを聞いてアセスメントにて検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	一人ひとりの生活リズムに合わせセンター方式で把握し、担当者、ケアマネを中心に家族と話し合い作成している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	安定している入居者の方は定期に見直し、変化が生じた場合はその都度、介護計画を見直している。		

グループホーム バラの家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者の要望により、外泊支援通院介助を行なっている。(自主サービス)		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所としての協力医療機関のかかりつけ医も決まっているが個々のかかりつけ医に受診している入居者も居る。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化に伴い、ご本人や家族の意思を尊重し、かかりつけ医やスタッフと充分話し合い、支援している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の取り扱いには特に注意しているが、言葉かけや対応に配慮が必要な時もある。		月2回のミーティング時に研修される事を期待します。
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者一人ひとりのペースに合わせ、個々の行動があり、スタッフは見守りながら支援している。		

グループホーム バラの家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居前に調理経験のある人を中心に職員が手伝いながら準備、片付けをしている。		入居者の残存能力を見ながら出来る力を活かして、共に家族の一員となっていられる事を望む。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の時間や回数等、入居者のペースに合わせ見守りながら支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	調理、洗濯物を干したりたたんだり、毎日の散歩等その人に合わせた支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩を日々の日課にしている人もあり、出来るだけ外出してもらう様に心がけている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中玄関は鍵をかけていない。ドアの開閉はセンサーやモニターにて確認している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防訓練は年2回行なっている。		地域との関わりを持ち、より協力を得られるよう働きかけを期待します。

グループホーム バラの家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	必要な方には、日々の水分摂取を記録し、咀嚼機能低下の方には、お茶ゼリー等で飲みやすく摂取出来る様に支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間の一郭に畳の部屋があり、又ソファ等が置かれていて、それぞれの場所で過ごされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具やテレビ、冷蔵庫を持ち込み、その人らしい居室になっている。		